



水道技術者研修会（A コースオンライン研修：12月5日～16日）

水道事業体及び賛助会員の技術系職員（水道歴概ね3年未満）の方々27名の参加を得て、「水道計画」、「導・送・配水施設」、「水道基礎工学」、「水源・取水・貯水施設」、「土木材料及び施工法・水道資材」、「浄水施設」、「機械・電気・計装設備」、「水質管理」、「給水装置」の科目について12日間の配信期間によりオンライン（オンデマンド配信）研修を実施した。

第48回認証審査委員会（12月13日）

はじめに、審議事項(1)「神東塗料(株)による不適切行為事案の再発防止対策」を上程し、審議の後、事務局案のとおり了承された。

続いて、報告事項(1)「給水用具（非常用貯水槽）の取扱い」について、報告した。

最後に、報告事項(2)「その他」として、本協会の受信力・情報発信力の強化等について報告し、閉会した。



浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第7回：12月13日～16日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々14名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

第767回抄録委員会（12月14日）

本誌2月号、3月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。



第179回水道 GLP 認定委員会（12月14日）

水道 GLP 認定について審議した結果、川崎市上下水道局（JWWA-GLP011）、京都市上下水道局（JWWA-GLP019）及び株式会社太平環境科学センター（JWWA-GLP114）の認定更新を決定した。

また、豊中市上下水道局（JWWA-GLP038）、東北環境開発株式会社（JWWA-GLP086）及び株式会社環境総合リサーチ中部事業所（JWWA-GLP145）の認定維持、並びに福岡地区水道企業団（JWWA-GLP020）、久留米市企業局（JWWA-GLP021）、札幌市水道局（JWWA-GLP022）、一般財団法人東海技術センター（JWWA-GLP023）、一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター（JWWA-GLP024）、水戸市上下水道局（JWWA-GLP072）、新潟東港地域水道用水供給企業団（JWWA-GLP073）、長岡市水道局（JWWA-GLP119）及び豊橋市上下水道局（JWWA-GLP141）の認定延長を決定した。

配管設計講習会（九州会場第2回：12月14日～16日）

水道事業体及び民間企業等において配管設計の経験が少ない水道技術者の方々51名の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

水道施設耐震技術研修会（東京会場：12月15日～17日）

水道施設の耐震設計業務等に携わるの方々79名の参加を得て、「水道施設の耐震化の概要」、「総則、水道施設の地震対策、耐震設計の基本」、「構造物別の耐震計算と性能照査」、「水管橋および水路橋の耐震計算と性能照査」、「水道施設における建築物の耐震計算法、機械電気設備の耐震設計」、「池状構造物」について研修を実施した。

第263回衛生常設調査委員会（12月20日）

はじめに、田村工務部長より挨拶を行った。
議事に入り、宮田委員長進行の下、「震災等の非常時における水質試験方法（上水試験方法-別冊）の改訂方針について」及び「JWWA K139規格（水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料）の改正について」に関連する審議を行った。

その他、「水質試験方法等調査専門委員会」及び「水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会」の状況報告、「水道用次亜塩素酸ナトリウムの取扱い等の手引き（Q & A）」の改訂（案）の報告、並びに「水道 GLP の状況」について事務局より報告を行った。



第66回国際委員会（12月21日）

はじめに、「令和4年度の国際研修の実施について」、「国際イベントの開催・参加報告について」、「その他国際活動の実施報告について」、「今後開催される国際イベントについて」、「受信力・情報発信力の強化に向けて」事務局より報告を行った。

続いて、令和5年度国際研修計画（案）が上程され、了承された。



第1011回会誌編集委員会（12月26日）

本誌1月号・2月号の編集方針、投稿原稿の査読等について審議を行った。

